産地パワーアップ事業
都道府県事業評価
都道府県名　　大分県
（２）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状	現状 面積	現状 面積 単位	現状 生産量又は出荷量	現状 生産量又は出荷量 単位	現状 価格(販売単価)	現状 価格(販売単価) 単位	現状 生産コスト	現状 生産コスト 単位	目標 年度	目標	目標 面積	目標 面積 単位	目標 生産量又は出荷量	目標 生産量又は出荷量 単位	目標 価格(販売単価)	目標 価格(販売単価) 単位	目標 生産コスト	目標 生産コスト 単位	実績 年度	実績	実績 面積	実績 面積 単位	実績 生産量又は出荷量	実績 生産量又は出荷量 単位	実績 価格(販売単価)	実績 価格(販売単価) 単位	実績 生産コスト	実績 生産コスト 単位	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 事業実施前年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 単位	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 目標年度	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 単位	補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率（%）	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
国東市農業再生協議会	2	国東市地区	こねぎ	施設野菜産地の形成の推進 ①　生産技術高度化施設（低コスト耐候性ハウス）の導入による周年・計画生産の取組 ②　安定した需要が見込まれるこねぎの産地強化に向けた高品質・安定供給の取組	販売額の10%以上の増加(81.5%の増加)	27	総販売額272,942,674円	9.48	ha	293,750	kg	929	円/kg	－		2	総販売額495,481,145円	15.52	ha	537,166	kg	922	円/kg			2	399,963,624	17.18	ha	480,618	kg	835	円/kg			511		384		1.331	532,351,584円	出荷伝票や申告書類など販売額が確認できる書類に基づいて、実績の検証を行う。	116.6%	規模拡大を進めており、生産量も少しずつだが増加傾向にあり、栽培計画の見直しと管理の徹底を指導することで品質が向上し、目標を達成した。	規模拡大が進み、適切な栽培計画の見直しや管理の徹底等により品質が向上し、目標を達成した。	※国東市の武蔵地区から国東市全域に地区が拡大した
竹田市農業再生協議会	1	荻地区	トマト・ミニトマト	生産技術高度化施設の導入により、トマトの周年・計画生産と高品質安定生産、産地強化に取り組む。	販売額の10%以上の増加(29.2%の増加)	27	総販売額637,663,000円	18.44	ha	2,175	ton	トマト280 ミニトマト601	円/kg	－		2	総販売額824,070,000円	22.86	ha	2,438	ton	トマト322 ミニトマト623	円/kg			2	総販売額768,499千円	22.2	ha	2,340	t	トマト310 ミニトマト542	円/kg			トマト343 ミニトマト653	円/kg	トマト341 ミニトマト581	円/kg	トマト1.006 ミニトマト1.124	782,383千円	出荷伝票や申告書類等の販売額が確認できる書類に基づいて、実績の検証を行う。	77.6	関係機関一体となって指導体制を構築し、単収向上に向けて産地指導を行ってきたが、大玉トマトにおいて、ウイルス病（TYLCV）の発生拡大による、9月以降の収量落ち込みの影響が大きく目標に対しては未達となった。産地全体での対策を講じることにより達成を見込む。	産地全体で病害対策を行い、目標達成できるよう指導する。	（中心的経営体の取組面積） 4.49ha 中山間地域所得向上支援事業との連携事業
宇佐市農業再生協議会	1	宇佐地区	こねぎ	施設野菜（小ねぎ）産地の形成の推進 ①新規就農者の育成により安定供給の取り組み ②国内需要の高い小ねぎの大規模な産地化及び高品質供給の取り組み	販売額の10%以上の増加	27	総販売額201,576,000円	5.2	ha	210,136	kg	959	円/kg	－		2	販売額334,499千円	8.9	ha	360,700	kg	927	円/kg			2	販売額258,111千円	8.9	ha	306,039	kg	843	円/kg			959	円/kg	843	円/kg	1.138	293,594千円	【現状について】 H27年度の共販実績から集計する。 【目標について】 ・目標年度の共販実績から集計する。	69.0	作付面積は計画どおりとなり、昨年度に比べて出荷量は増加したが、販売単価の低迷により、目標達成に至らなかった。単収および秀品率の向上を図る。	単価の高い時期に安定して出荷できるよう指導する。	
	17	安心院地区	露地野菜（ジャガイモ）	露地野菜（ジャガイモ）産地の形成の推進 国内需要の高い加工用ジャガイモの産地化及び高品質安定供給への取り組み等を推進することにより、販売額10%以上の増加を実現する。	総販売額の10%以上増加	30	総販売額9,210千円	8.6	ha	177,616	kg	52	円/kg	－		2	総販売額13,750千円	10.0	ha	250,000	kg	55	円/kg			2	12,153千円	9.6	ha	243,518	kg	50	円/kg									【現状について】 H30年度の出荷実績から集計する。 【目標について】 目標年度の出荷実績から集計する。	64.8	面積を拡大し、販売額の増加を図る	面積を着実に拡大しているが、販売単価が低く目標販売額の達成はできなかった。目標達成に向け、栽培管理の指導等を行い品質向上を図るよう指導する。	全量契約出荷
杵築市農業再生協議会	2	杵築地区	水耕ねぎ	施設野菜産地の形成の推進 ①生産技術高度化施設（高度技術導入施設）の導入による周年・計画生産の取組 ②国内需要の高い水耕ねぎの産地化に向けた高品質・安定供給の取組	販売額の10%以上の増加(57.2%の増加)	27	総販売額251,085,963円	2.6	ha	353,960	kg	709	円/kg	－		2	総販売額394,784,196円	3.7	ha	562,596	kg	701	円/kg			2	272,960,558円	3.7	ha	461,772	kg	591	円/kg									出荷伝票や申告書類等の販売額が確認できる書類に基づいて、実績の検証を行う。	15.2%	作付面積は計画どおりとなったが、天候不順もあり生産量は目標の82%であった。また、全国的な販売単価低迷であった中、単価目標の84%で未達となった。関係機関と連携し、安定生産技術を向上させることで生産量増加と単価確保を図る。	単価の確保について関係機関と連携して支援をおこなう。	
玖珠九重地域農業再生協議会	4	戸畑・山田	菌床椎茸	菌床椎茸について、菌床製造施設等の整備によって菌床調達コストの低減を図り、生産性を高めることにより、着実な生産規模拡大の継続に繋げる。	総販売額の10%以上の増加	29	159,472千円	2.5	ha	143,239	kg	1,113	円/kg	－		2	232,458千円	3.00	ha	225,200	kg	1,032	円/kg			2	181,542千円 千円	3	ha	172,960	kg	1,050	円/kg									申告書等、販売額が分かる資料から検証	30.2%	目標値に近づいているはいるが、単価の下落の影響により売上げが落ち込み、達成まで期間を要する。今後は総販売額を更に伸ばして目標値を達成するよう指導し、行政機関と連携して取り組んでいく。	総販売額について、目標値には達成していないが、増加率は114%となっており、着実に増加してきている。引き続き指導を行い、総販売額の増加に努めたい。	